

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	
下仁田町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	1日あたり3名のスタッフで教室を運営しているが、スタッフ間で、子どもたちとの関わり方に対する意識の格差があり、子どもたちの活動が管理されている傾向にある。教育委員会・学校が目指す非認知能力の育成の視点を踏まえた教室運営をスタッフと共有できていないことが課題である。	令和5年度に放課後子ども教室のあり方についてスタッフを対象とした研修を1回開催した。	・子どもたちが運営に参画する環境づくりに取り組むことを児童・保護者・スタッフと共有し、取り組みの1つとして「こども会議」を年間4回以上実施し、事業に反映する。 ・子どもたちの参加確認とスタッフの勤怠管理を行うため、入退室管理システムを導入し、確認作業に費やす事務作業時間を削減し、子どもたちと関わる時間を確保する。 ・スタッフ研修を年間3回以上実施する。研修後はアンケートを実施し、結果からスタッフの意識変容を把握し、次回以降の研修内容に反映する。	放課後時間の過ごし方を自分で考え、自分で決めることができる児童が増える。	アンケートによる児童の10段階評価平均満足度	8	その他	9	9	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。	放課後子ども教室の利用児童の活動の様子から、放課後時間の使い方を自分で決めることができる児童が増えている。